

令和3年度第1回狭山市公民館運営審議会会議録

開催日時	令和3年6月24日（木） 午後2時から午後4時
開催場所	狭山市立中央公民館第1ホール
出席者	宇佐見委員、中村委員、野口委員、齋藤委員、横江委員、高橋委員、小熊委員、田口委員、大井川委員、横田委員、折居委員、平野委員、細田委員
欠席者	小林委員、名雲委員
教育委員会	向野教育長、金子生涯学習部長、内藤生涯学習部次長公民館統括教育総務課長兼務、奥富社会教育課長
公民館	新井中央公民館長、高取富士見公民館長、石井入曾公民館長、池之谷水野公民館長、武井堀兼公民館長、北田狭山台公民館長、内出新狭山公民館長、田村奥富公民館副館長、田中柏原公民館長、熊谷広瀬公民館長、田中水富公民館長、原中央公民館副館長、平沼中央公民館主査
傍聴者	なし

1 開会

2 委嘱状交付

3 教育長あいさつ

4 委員紹介

委員及び事務局職員自己紹介

5 委員長及び副委員長の選出

互選により、細田委員を委員長に、齋藤委員を副委員長に選出

6 議事

- ・各公民館の令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画について資料（「狭山市の公民館の取り組み」以下「取り組み」という。）に基づき各公民館長から説明

委員長 入曾公民館の令和3年度事業計画に体育祭が無いようだが、どのような扱いになっているのか。

事務局 今年度は公民館事業ではなく、入曾地域交流センター事業として振り分けたところである。

委員長 他の公民館は体育祭については公民館事業として掲載されているが、入曾公民館の事業ではないということなのか。公民館事業と交流センター事業との区分けはどのようにしているのか？

事務局 地区の体育祭については、かつては社会体育事業として公民館が事業として担ってきた。その後、地区センターが公民館に併設され、近年は地区センターが事務局を担っている自治会が中心となって、地区体育祭

が運営されていることが多くなってきている。そのような状況で、地区の体育祭については、社会体育事業というよりも、まちづくりの事業という側面にスライドしてきている。入曽地域交流センターについては、公民館機能も担う交流センターということもあり、体育祭については、公民館事業ということも言えるが、入曽は交流センター事業として取り扱ったということである。

委員長 今後、各館で体育祭の位置づけに“ばらつき”がでるということか。
事務局 基本的には社会体育事業であることから、“ばらつき”はないと考えている。

委員長 地区体育祭の位置づけについては、公民館の交流センター化が進むなかで、どちらが担うのかは整理をしておいて欲しい。

委員長 3年度の公民館基本方針1として、「現代的課題や地域課題への取組の強化」があるが、各公民館で地域課題を捉えているのか。各館で地域課題を整理し、職員が共有したうえで、事業を進めた方が市民の皆さんには分かりやすいと思う。

また、基本方針4の「地域の教育力を培い、まちづくりにつながる公民館事業の推進」については、まちづくりの人材育成の対応は難しいことだと思う。逆に、各地区のまちづくりの目標を捉え、その目標に向けて人材を育成するという考え方もある。地区センター機能である「まちづくり事業」と連携して進めた方が良いのではないか。

事務局 地域課題とは地域固有の課題であり、入間川地区の例でいうと、現在、郷土芸能の後継者がいない状況があるので、ふるさとづくりの一環として、小中高生を対象に郷土芸能を学び、担い手づくりにつなげられる講座を実施していくべきだと考えている。すると、地域学習には必ず地域の方が関わることになるので、例えば、受講生が実際に地域に出て地域のまちづくりを展開していく中で生まれた新たな課題に対し、その課題解決につながる内容を講座として公民館に戻していくようなキャッチボールができれば、大きな目標としてのふるさとづくり・まちづくりにつながっていくのではないか。

これからの公民館事業は各公民館平準化ではなく、各地域の特色ある地域課題をひろいあげ、講座にする努力が必要かと思う。

委員長 地区センターが担っているまちづくり推進会議を活用したほうが良いかと思う。公民館への波及効果を図ってほしい。タイアップを研究してもらいたい。

奥富公民館と水富公民館に地域課題をテーマとした講座があるので、モデルとして見守りたい。

委員 各地域によって想定される災害が違うので、その地区に対応した防災の講座を企画して欲しい。一般的な講座よりも、災害をより身近に感じてもらえる講座を実施して欲しい。

事務局 現在は、公民館職員が地区センター職員を併任し、現地災害対策本部を開設する。市の防災担当職員や現地対策本部員・公民館職員が連携して実施する講座等を公民館事業として展開していきたい。

水富公民館では、予約が入っていない学習室を利用して、昨年度市が作成した防災に関するDVDを上映した。

奥富公民館では、地区の防災会とタイアップし、青少年育成地域会議・消防団・大学等と連携し、親子を対象に地域の防災課題や消防団の実演など、地域の防災に関心を持ってもらう事業を計画している。

副委員長 コロナ禍で職員の皆さん、ご苦労されて講座を企画されていることが伝わってくる。その中で、昨年度の動画配信サービスを利用した講座が実施されているが、このような取り組みに対する手ごたえはどのようなものであったか。

事務局 参加者は10人に満たないものであったが、参加者からは好評を得たものであった。しかし、動画を実際に見た方の意見が分からず評価が難しいこともある。また、動画作成などに時間がかかることもあり、職員のスキルを含めて、講座の運営方法については、やり方を研究していかなければならないと感じた。

7 その他

・報告事項

- (1) 第38回狭山市民展について
- (2) 公民館の開館時間について
- (3) その他

8 閉会